

事例 12 森林経営管理制度を踏まえた市町村支援

(中部森林管理局 岐阜森林管理署)



- ・岐阜県^{げふろうし}下呂市^{ひちそう} 七宗国有林
- ・ニホンジカ食害防除対策現地検討会
(令和5(2023)年12月)



- ・岐阜県^{げふろうし}下呂市^{おちあい} 落合国有林
- ・間伐事業の現地検査に市町村職員が同行している様子(令和5(2023)年12月)

近年、森林環境譲与税及び森林経営管理制度の開始等により、森林・林業行政における市町村の役割が益々大きくなっています。このことから、岐阜森林管理署では、市町村林務担当職員にとって必要となる森林・林業に関する知識の習得や技術の向上に向けて、様々な支援に取り組んでいます。

令和5(2023)年度は、民有林と国有林の共同施業を進めるための森林整備協定運営委員会の開催のほか、造林の低コスト化・省力化や生産性の向上に向けた検討会、ニホンジカ食害防除対策の現地検討会を開催し、市町村職員にも参加いただき意見交換等を行いました。また、事業発注に関する技術力の向上に向け、国有林の間伐事業発注のための調査や検査業務について実地研修を行うなどの技術的支援の場を設けました。

引き続き、市町村職員の知識の習得や技術の向上に資する支援の取組を積極的に進めていきます。